

## 議題（4）

話題提供「線状降水帯と淀川チャンネル型大雨」

大阪管区気象台長 横田寛伸 氏

# 線状降水帯と淀川チャンネル型大雨

---



水防災意識社会  
再構築ビジョン

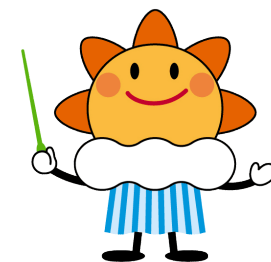


令和4年度第1回 淀川管内水害に強い地域づくり協議会(大阪府域)首長会議

# 線状降水帯と淀川チャンネル型大雨

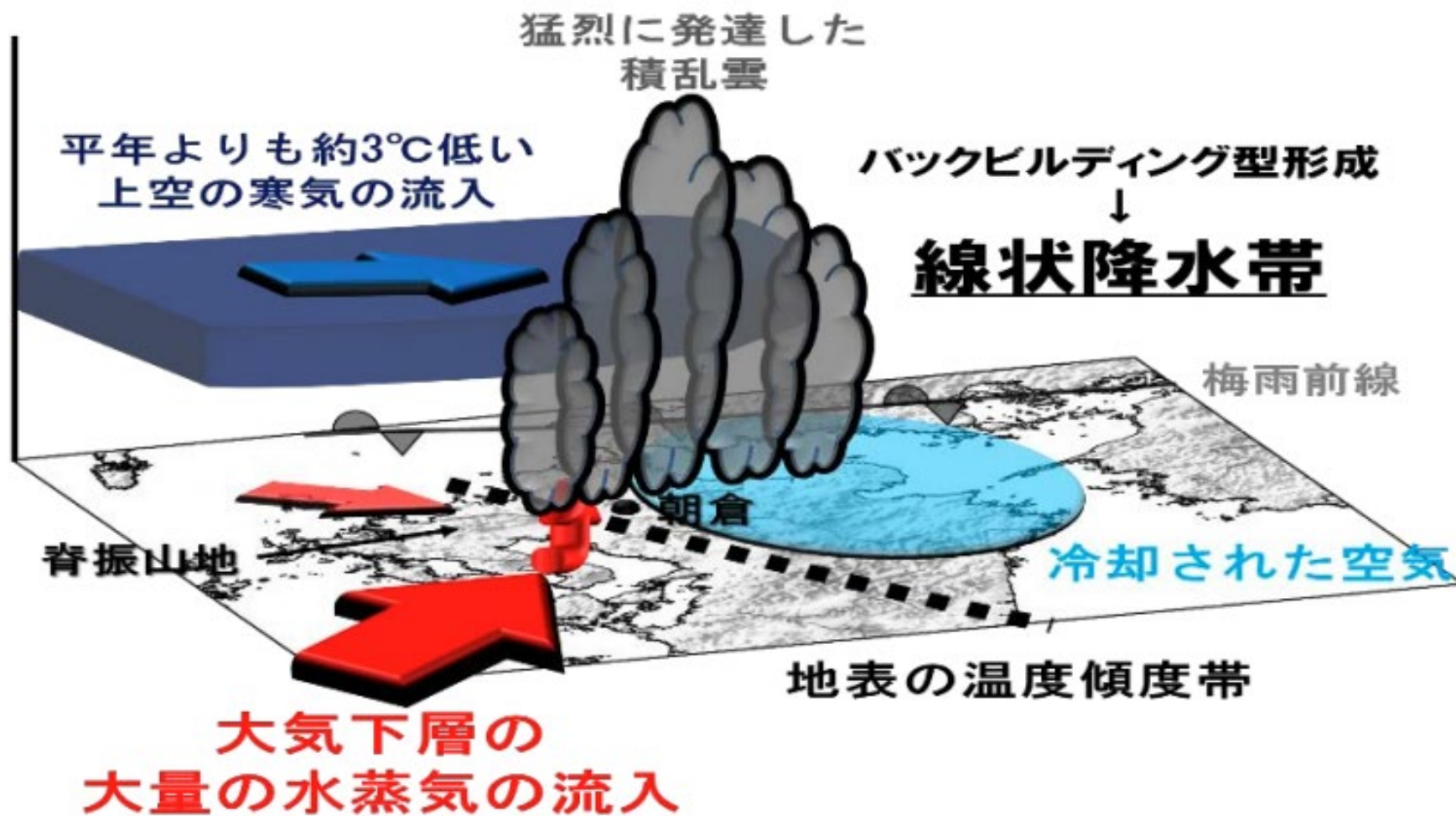
令和4年7月11日

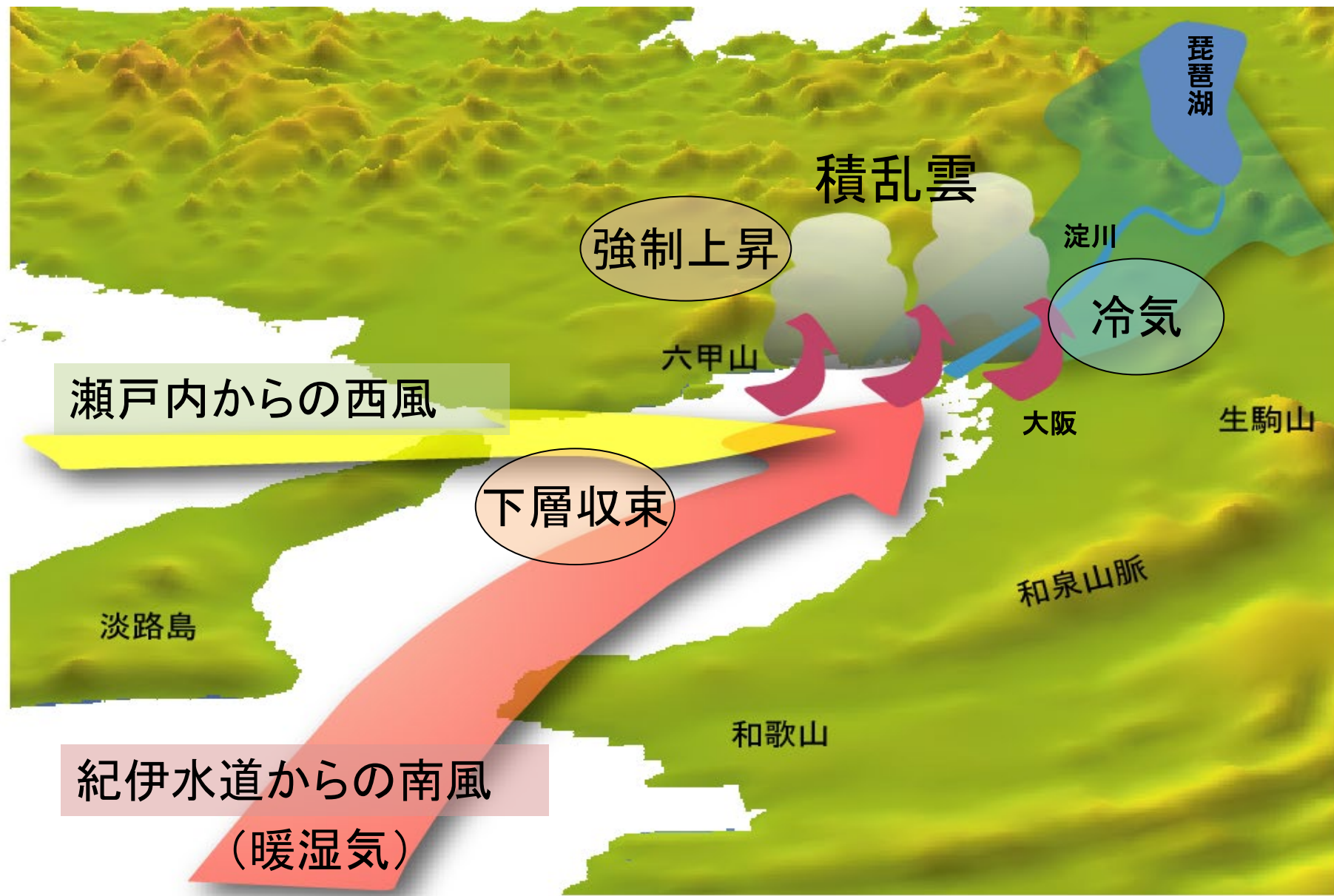
大阪管区気象台長  
横田寛伸



気象庁マスコットキャラクター  
“はれるん”

平成29年7月の九州北部豪雨(福岡県朝倉市付近)の発生メカニズム

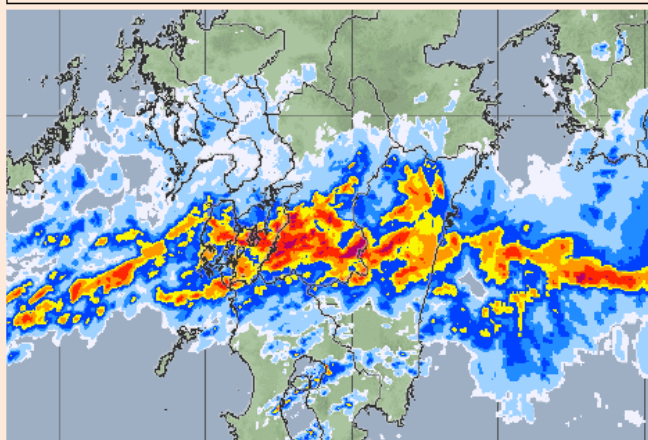




令和4年6月1日から、産学官連携で、スーパーコンピュータ「富岳」も活用し、世界最高レベルの技術を用いた線状降水帯予測を開始しています。

## <令和4年度の実施内容>

### 半日前からの予測情報の提供

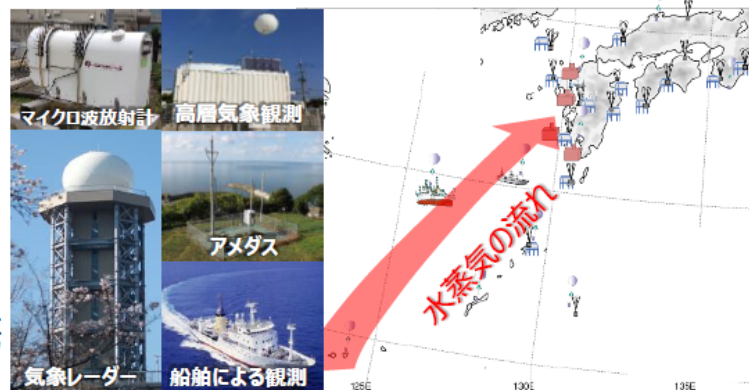


線状降水帯による大雨について、**早めの避難につなげるため、たとえば、「半日後に、九州北部で発生」といった予測を開始。**

(深夜や未明の状況を予想して、**明るいうちに避難の心構えを！**)

### 水蒸気観測の強化と集中観測の実施

- 観測機器の整備を強化・前倒し
- 産学官連携を活用し、大学や研究機関との連携による集中観測を実施



### スーパーコンピュータ「富岳」の活用

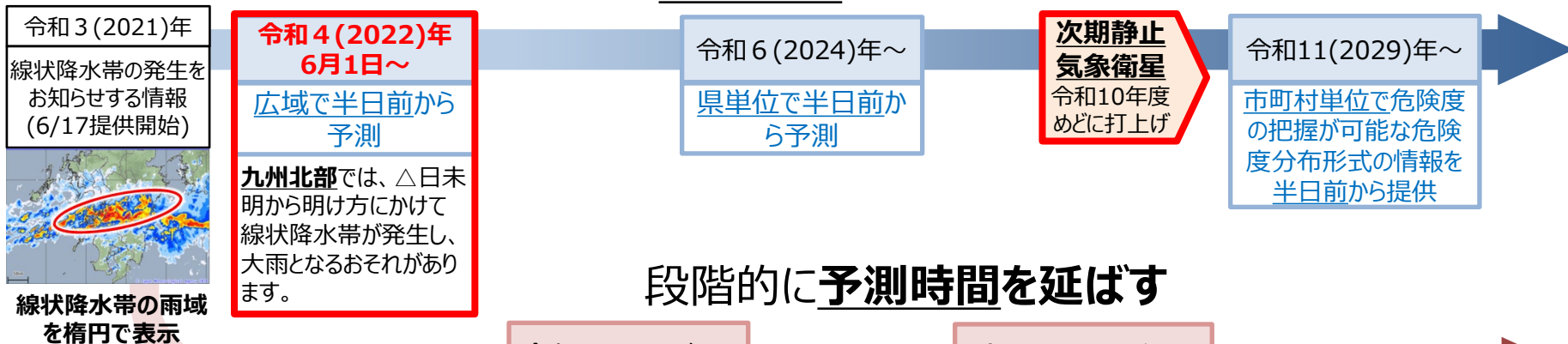
スーパーコンピュータ「富岳」を活用し、開発中の予報モデルのリアルタイムシミュレーション実験を実施



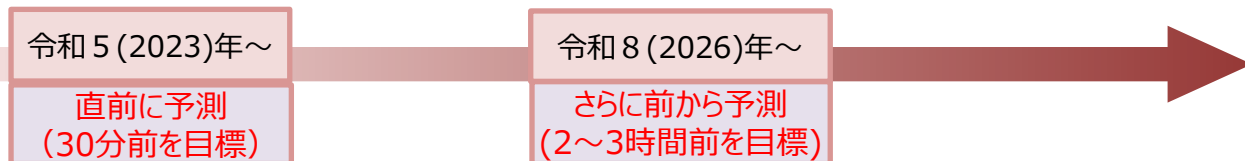
今後、引き続き技術開発等を進め、更なる予測精度向上を図っていく

## 情報の改善

### 段階的に対象地域を狭める



### 段階的に予測時間を延ばす



ご清聴ありがとうございました

